

「大学生のためのお金の教室～大学生に金銭教育は必要？」

ファイナンシャルプランナー 江尻正幸

こちらで毎月、大学生向けのマネーコラムを書かせて頂いているように、私は大学生に対する金銭教育（マネー教育や金融・経済教育など様々な呼称がありますが、今回は金銭教育に統一します）の普及をFP業務の中核としています。

今号では、大学生向け金銭教育の現状について解説し、今後の展望をお伝え致します。

【質問】

4月から大学に入学します。

高校の先生が、「大学生になったらお金のことも学ぶように。」とっていました。

具体的には、どのようなことが行われているのでしょうか。

【回答】

●金銭教育の必要性

現在、大学生向け金銭教育の必要性が叫ばれています。

その理由としては、以下のようなものが挙げられます。

- | |
|----------------------------------|
| ・長期的視点に立ったライフプランニングの重要性が上昇 |
| ・年金などの社会保障の仕組みが理解されていない |
| ・インターネットや携帯電話など、ネット上での金銭的トラブルの増加 |
| ・様々な投資商品があふれている |

また、一人暮らしやアルバイトを始める大学生も多くいらっしゃいます。

そのため、金銭教育を通してお金の使い方を学び、事件などに巻き込まれることを防ぐことが期待されます。

また、お金のことを学生時代に学ぶならば、「ただ闇雲に働き、貯金する」、「モヤモヤしたお金の不安に悩まされる」、「リスクを取ることを恐れる」といったことを避ける効果も期待できるのではないのでしょうか。

●現状の取り組み

それでは、現在どのような取り組みが行われているのでしょうか。

文部科学省	大学生の安易な消費者金融利用防止などを目的し、「消費者教育フェスタ」、「消費者教育の指針」等にて対策強化を図る
金融広報中央委員会	「金融教育フェスティバル」にて大学生に対する金銭教育実践報告・ワークショップ開催
日本証券業協会	大学生を対象としたパーソナルファイナンスセミナー開催

また、こういったイベントや講義だけでなく、金銭教育に役立つ資料やキットもそれぞれ提供されています。

さらに、大学によっては講義や公開講座等で金銭教育を実施しているケースもあります。

●今後の展望

学生向けの金銭教育が必要だと考えている方は多く、上記のような取り組みはもちろん、学校単位での取り組みも今後は広がっていくでしょう。

また、これは私の普段の営業活動を通しての実感で恐縮ですが、特に20～30代の方が金銭教育の重要性を認識しています。

こういった世代の方が、今後の日本における金銭教育普及に大きな役割を果たす可能性を大いに感じています。

もちろん、私も引き続き金銭教育普及を目指し、大学生向けマネーセミナー講師等を務めて参ります。

今号はこれまでと趣向を変えましたが、来月からは再び日常に役立つ学生向けマネー情報を発信しますので、宜しくお願い申し上げます。

参考URL

文部科学省 <http://www.mext.go.jp/>

金融広報中央委員会 <http://www.shiruporuto.jp/index.html>

日本証券業協会 <http://www.jsda.or.jp/index.html>